

**議会運営委員会
視察報告**

大垣市でも導入を 傍聴者にとって分かりやすい「一問一答方式」

10月16日から18日まで議会運営委員会の行政視察で鹿児島市、八代市、尾道市を訪問しました。議会運営についての視察は初めてで、大変勉強になりました。特に、一般質問について、3自治体すべて「一問一答方式と対面方式」を導入しており、その効果は、何よりも傍聴者など聞く側にとって分かりやすくなったということでした。この評価は3自治体、共通して出されていました。今回、最も完成されていたと思われる鹿児島市の方式について報告します。また、その他の調査事項の中から、TV・インターネット放映について、大垣市は実施していませんが、視察先の自治体についてお知らせします。

大垣市議会議員 笹田ト

市は会派の代表質問は行われていません。以下の表は、鹿児島市と大垣市の比較表です。

	鹿児島市	大垣市
質問時間	当局答弁を含めず90分	質問・答弁を含めて1時間
質問回数制限	なし	3回
質問の方法	一問一答方式	一括質問、一括答弁
議場発言の対面方式	実施している	実施していない

鹿児島市の一問一答方式

鹿児島市は人口約60万人で大垣市の約4倍、議員数は50人で議会事務局の職員も29名と、自治体の規模は大垣市と大きく違います

鹿児島市は、平成13年6月、議会運営委員会で一問一答方式の導入について提起され、約半年間議運で協議を行い、平成14年第1回定例会から試行的に行い、平成17年9月より本格実施を行ったということです。

鹿児島市は、会派の代表質問も行っており、この場合は一括質問一括答弁で、議員の個人質疑で一問一答方式を導入

分かりやすく、緊張感をもった 一般質問に変化

鹿児島市では、導入するにあたっては、議会運営委員会で何回も協議を行い、「一問一答方式に関する申合せ」「対面式に関する申合せ」を行い、「発言通告書記載事例案の説明」「個人質疑の事例フローの説明」「議場で一問一答方式及び対面式のシミュレーションを実施」するなど、議員の研修会を開催して、準備をしてきました。発言通告書の発言要旨をみると、質問内容は具体的で、質問者が何を聞きたいのかははっきりしています。この発言通告書は、インターネットや新聞記事で市民に公開されており、市民の関心が議会の一般質問に向くようになっています。一問一答方式の導入効果について、聴く側は、今、何が論議されているのかが分かりやすくなったこと、また答弁漏れがほとんど見受けられなくなったということです。再質問について制限がありませんので、納得がいくまで質問できます。そのためには議員も質問内容についてしっかり研究しなければならないということで、質問者も答弁する側も緊張感をもって行われているということでした。

TV・インターネット放映の状況

	本会議・委員会の中継	実施による変化等
鹿児島市	本会議：インターネット放映	アクセス数：8000～16000
八代市	本会議及びすべての委員会のインターネット放映	議員の変化：TVに映るため姿勢が良くなった。関係部署の職員が質問内容を後で見ている。
尾道市	CTVの中継及びその録画をインターネットで放映	殆ど費用は掛かっていない

日本共産党演説会

主任弁士：佐々木憲昭衆院議員

とき 11月10日(土)
13時30分から16時
ところ 岐阜市文化センター

原発ゼロ・消費税と社会保障・TPP・尖閣諸島等々、共産党の政策をズバリお答えします。お越しください。